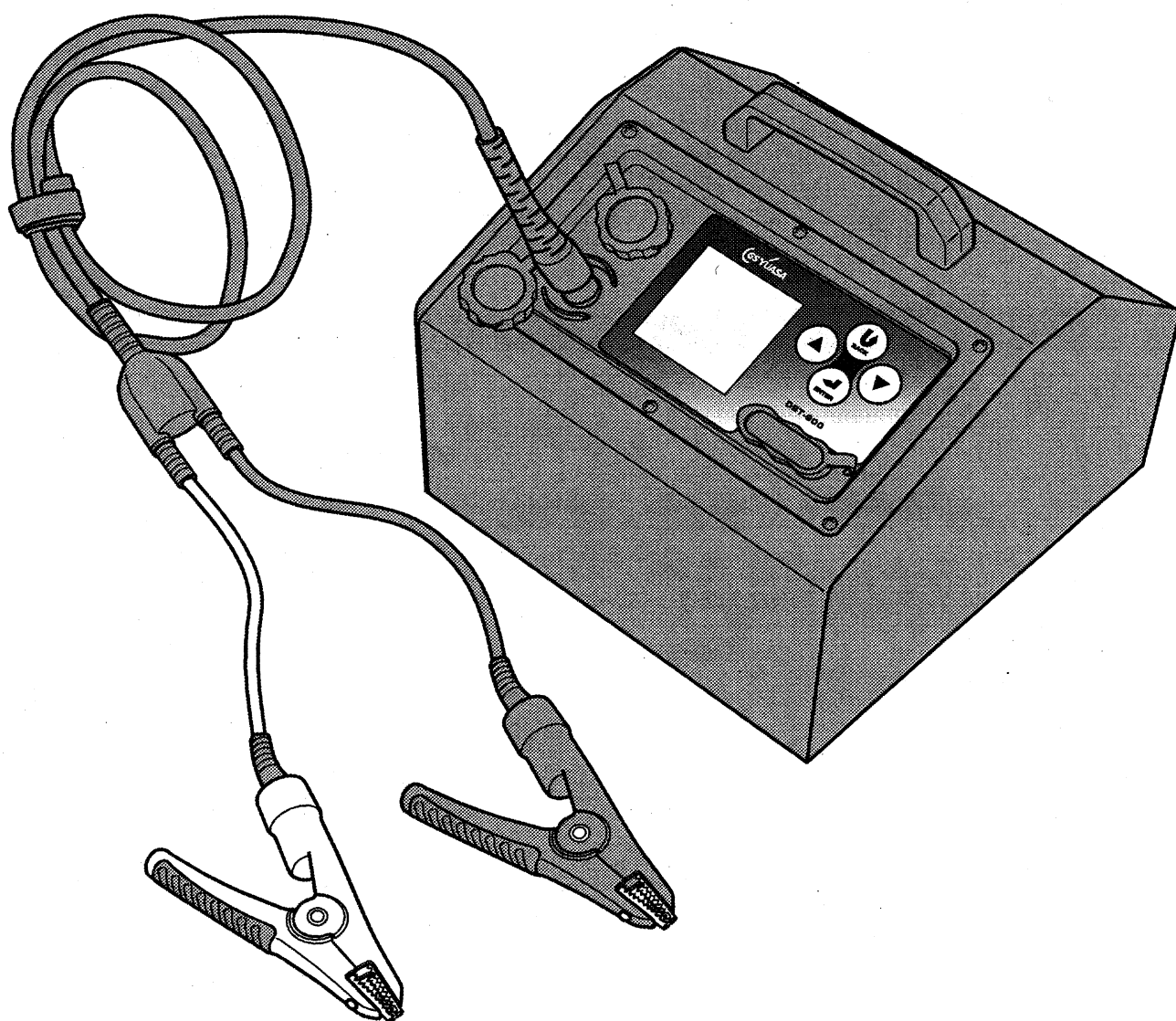




# バッテリーテスター MODEL DBT-900 取扱説明書（保証書付）



この度は弊社製バッテリーテスターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、本体より離さず保管してください。また本文中に記載しています危険、注意は安全上特に重要な部分ですので、必ずお守りください。

## はじめに

このたびは、弊社製バッテリーテスターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
このテスターはバッテリーテストの他、スタータテスト及び充電テストも可能であり、24V車のテストも可能です（スタータテスト、充電テストのみ）。  
よってバス・トラックのバッテリーメンテナンスに最適です。

## 目 次

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| はじめに、目次                       | 1   |
| おもな仕様                         | 1   |
| 安全にお使いいただくために                 | 2～4 |
| テスト内容（バッテリーテスト、スタータテスト、充電テスト） | 5   |
| 判定結果の見方                       | 5   |
| 各部の名称とはたらき                    | 6～8 |
| 操作方法（言語設定）                    | 8   |
| 操作方法（バッテリーテスト）                | 9   |
| 操作方法（スタータテスト）                 | 10  |
| 操作方法（充電テスト）                   | 11  |
| エラーメッセージ                      | 12  |
| 故障かな？と思ったら                    | 12  |

## おもな仕様

| 項 目     | 内 容                                        |
|---------|--------------------------------------------|
| 型 名     | DBT - 900                                  |
| 外 形 寸 法 | 高さ254×幅254×奥行き254（mm）（突起物含む）               |
| 質 量     | 約4.0kg（テストコード含む）                           |
| テストコード  | バッテリークリップ付ケーブル（約1.6m）                      |
| 材 質     | 本体部：板金 ユニット：ABS樹脂                          |
| 適合バッテリー | DC12V自動車用開放形鉛バッテリー<br>JIS形式 48～176Ah/5HR   |
| 駆 動 電 源 | 測定するバッテリーを電源とする。                           |
| 動作電圧範囲  | DC8V～15V（バッテリーテスト）<br>DC8V～30V（スタータ・充電テスト） |
| 入力耐電圧   | DC40V以下                                    |
| 使用温度範囲  | 0～40℃                                      |
| 使用湿度範囲  | 20～80%                                     |
| 保 護 装 置 | 逆接保護                                       |
| 使用言語    | 日本語／英語                                     |

## 安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」及び本体への表示では、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、お守りいただくことを説明しております。

その表示と意味は次のようになっております。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| 絵 記 号                                                                                       | 解 説                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
|            | △記号は、注意・危険が必要な内容があることを告げるものです。<br>本文中には、△危険・△注意について注意内容が書かれています。    |
|  <b>危険</b> | ●この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容を示しています。             |
|  <b>注意</b> | ●この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|            | ●特定しない一般的な使用者の行為において、必ず守っていただく必要がある内容を告げるものです。本文中には、注意内容が書かれています。   |
|          | ●特定しない一般的な禁止の通告を表す絵表示です。<br>具体的な禁止事項の内容は本文中に記載しています。                |

ご使用の際は必ずお守りください。

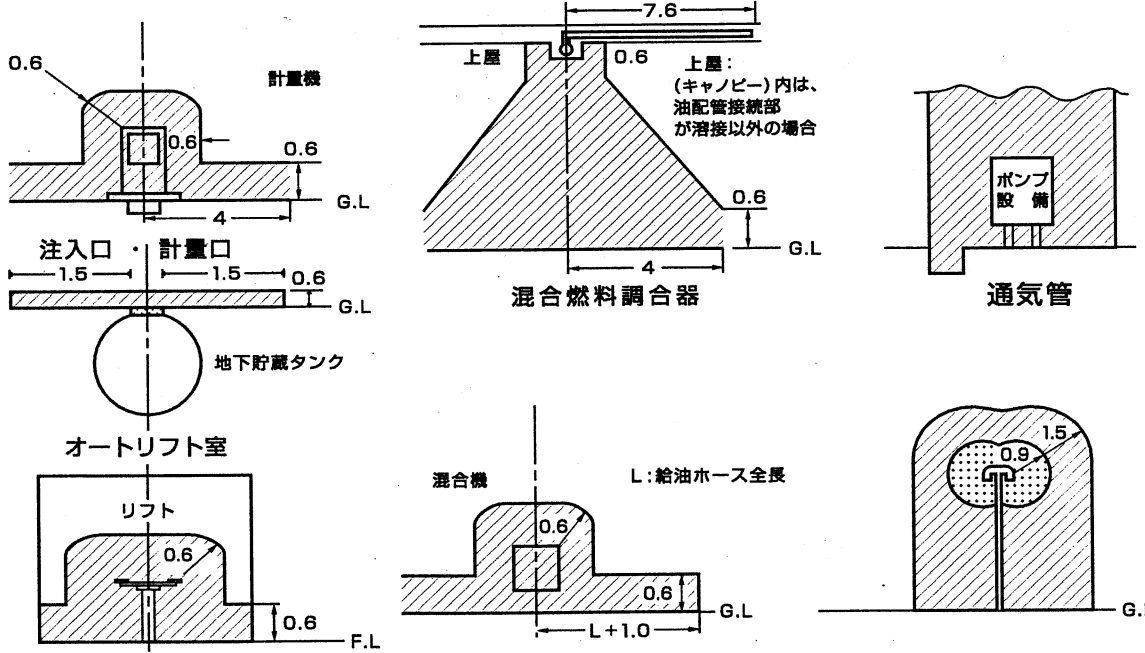
| 項 目                                                                                           | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>危険</b> | ◆ ガソリンスタンドなど危険物取扱場所のうち、第一種・第二種危険場所では絶対に使用しないでください。<br>・ ガソリン・アセトンなどが引火・爆発する危険があります。(第一種・第二種危険場所についてはP4参照)                                                           |
|                                                                                               | ◆ 作業は、よく換気された場所で行ってください。<br>・ バッテリー周辺には水素ガスが滞留していて、接続するときの火花で爆発することがあります。                                                                                           |
|                                                                                               | ◆ バッテリーのテストをする前にバッテリーの電解液量を点検し、電解液が最高液面線と最低液面線の間以下に低下している場合は、最高液面線（UPPER LEVEL）まで精製水を補充してください。(液栓の取り外せないバッテリー、VRLAを除く)<br>・ 電解液量が不足していると、バッテリーの発熱・爆発の原因になることがあります。  |
|                                                                                               | ◆ エンジンを停止した状態にて接続し、テストを行ってください。<br>・ 怪我・機器破損の原因となります。(スタータテスト及び充電テスト中に回転中のファンベルトに巻き込まれないようにしてください。)                                                                 |
|                                                                                               | ◆ 本機を分解したり、改造したりしないでください。<br>・ 本機の発熱・故障・火災およびバッテリー爆発の原因になることがあります。                                                                                                  |
|                                                                                               | ◆ バッテリーテスト中およびバッテリー取扱中において火気をバッテリーに近づけないでください。バッテリー内の残留ガスによりバッテリーが引火・爆発することがあります。                                                                                   |
|                                                                                               | ◆ テスト中はバッテリー端子からクリップを絶対に外さないでください。<br>・ 端子からの火花によりバッテリーの引火・爆発の原因になることがあります。                                                                                         |
|                                                                                               | ◆ 子供・乳幼児には、手を触れさせないように注意してください。<br>・ テスターの落下による怪我や、本体の過熱による火傷の原因になることがあります。                                                                                         |

安全にお使いいただくために

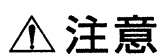
ご使用の際は必ずお守りください。

| 項 目                                                                                                                                         | 内 容                                                                                                                                                |                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <div style="text-align: center;"> <br/> <b>注意</b> </div> | <p>◆ 本機は、自動車用12V 開放形鉛バッテリー専用テスターです。指定以外の用途に使用しないでください。</p> <p>・ テスターの過熱・故障およびバッテリー爆発の原因になることがあります。</p>                                             |    |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 使用にあたっては、周囲温度0℃～40℃の範囲内でご使用ください。</p> <p>・ 特に温度範囲以外での使用は、火傷および本体過熱・燃焼の原因となることがあります。</p>                                                        |    |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 直射日光下や発熱体の近辺、湿度の極度に高い場所、トランクルームや荷台等振動の激しい場所、雨・雪、化学性ガス、バッテリー電解液のかかり易い場所では使用・保管をしないでください。</p> <p>・ 本機の故障、過熱による火傷や損傷およびバッテリー爆発の原因となることがあります。</p> |    |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 湿度の極端に高い場所、雨・雪などの水分のかかる場所での使用はできません。</p> <p>・ テスターの誤動作・破損の原因になることがあります。</p>                                                                   |    |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 本機を車両（エンジンブロックの上など）に載せたり、不安定な場所・高い場所に置いたりしないでください。</p> <p>・ 落下による怪我・誤動作および故障の原因になることがあります。</p>                                                |    |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 必ずエアキャップやビニール袋を取り外してからご使用ください。</p> <p>・ テスターの過熱・火災の原因になることがあります。</p>                                                                          |    |
|                                                                                                                                             | <p>◆ コードにヒビ割れ・芯線腐食および切れかけ・クリップほか導体部の露出・クリップの破損があれば、使用をやめ購入店にご相談ください。</p> <p>・ そのまま使用されますと、テスト中の火花によるバッテリーの爆発・短絡・過熱による怪我の原因になることがあります。</p>          |   |
|                                                                                                                                             | <p>◆ バッテリー端子が腐食している場合は、ぬるま湯で拭きワイヤーブラシで磨いてください。</p> <p>・ 端子が腐食したまま使用すると、テスト中の火花によりバッテリー爆発の原因になることがあります。</p>                                         |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 操作手順は、「取扱説明書」に従って正しく行ってください。</p> <p>・ 操作手順を間違えると、バッテリー爆発・車両破損の原因になることがあります。</p>                                                               |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 車両ケーブルをバッテリー端子より取り外す時は、車両側のキースイッチをOFFにしてから行ってください。</p> <p>・ バッテリー端子より火花が発生し、バッテリー爆発の原因になることがあります。</p>                                         |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ クリップは、⊕⊖の極性をよく確かめて確実に接続してください。</p> <p>・ 逆接続保護がされておりますが、誤動作の原因になることがあります。</p>                                                                  |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ バッテリー端子からクリップを絶対に外さないでください。</p> <p>・ 端子からの火花によりバッテリーの引火・爆発の原因になることがあります。</p>                                                                  |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 不用意にクリップをいじったり、車両のインテリアスイッチのON/OFFをしないでください。</p> <p>・ 瞬時の高電圧が発生し、本機の故障・誤動作の原因になることがあります。</p>                                                  |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 電圧異常等、異常状態になった場合は、すぐに黒いクリップをバッテリー端子より外してください。</p> <p>・ システム停止による保護はしておりますが、万が一の誤動作を防ぐものです。</p>                                                |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ 直射日光に操作パネル面を直接当てないでください。</p> <p>・ ケース変形・劣化、液晶の劣化の原因となります。</p>                                                                                 |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ エンジンルーム内は、高温となっています。高温になる部品には絶対触れないでください。</p> <p>・ 火傷の原因となります。</p>                                                                            |  |
|                                                                                                                                             | <p>◆ テスト終了後は、クリップをバッテリー端子から外しておいてください。</p> <p>・ 液晶の点灯により、テストバッテリーが放電します。</p>                                                                       |  |

# 安全にお使いいただくために

| 項目                                                                                                                                                                                                                                                   | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>  <br/> <b>注意</b> </div>                                                                                                                                       | <div> <p>◆ 本機を落としたり、投げたりしないでください。</p> <p>・ 本機の発熱・故障・火災およびバッテリー爆発の原因となることがあります。</p> </div> <div>  </div>                                                              |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | <div> <p>◆ 使用後や使用しない時および不在時には、バッテリークリップをバッテリー端子より外しておいてください。</p> <p>・ 予期せぬテストの過熱・火災の原因となることがあります。</p> </div> <div>  </div>                                           |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | <div> <p>◆ 使用後、クリップなどにバッテリー電解液が付着した場合、ぬるま湯できれいに拭いておいてください。</p> <p>・ そのまま保管するとクリップ腐食によりテスト中の火花でバッテリー爆発の原因になることがあります。</p> </div> <div>  </div>                         |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | <div> <p>◆ 点検・修理は購入店にご相談ください。点検・修理・調整はメーカーで行います。</p> <p>・ 上記以外の方が点検・修理・調整すると、テストの過熱・バッテリーの爆発等の原因になることがあります。加工によって起こるトラブルは、メーカーとして責任を負いかねます。</p> </div> <div>  </div> |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | <div> <p>◆ 異音・異臭・誤動作・部品の破損等が見受けられたら、ただちに使用をやめ購入店にご相談ください。</p> <p>・ そのまま使用すると、予期せぬ重大事故の原因になることがあります。</p> </div> <div>  </div>                                         |
| <div> <div>第一種危険場所</div> <div>  </div> <div>第二種危険場所</div> <div>  </div> </div> | <div>  <p>単位：m</p> </div>                                                                                                                                            |

各種設定ボタンを押す時は次のことを守りください。



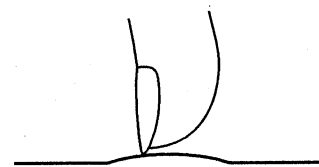
**注意**

- 設定の際、ボタンは必ず指の腹で押してください。
- つめや先端の尖った工具などで押しますと故障の原因となります。

操作パネル面



正しい押し方  
(○)



誤った押し方  
(×)

## テスト内容

### 【バッテリーテスト】

バッテリーの状態を測定することができます。判定できるのはDC12V自動車用開放形鉛バッテリー（JIS形式）のみです。24V車のバッテリーを測定する場合はバッテリー個々に測定を行ってください。

#### ● 温度設定について

温度設定は電解液の温度にあわせて設定してください。

##### (1) 始動前に点検する場合

周囲温度にあわせて温度設定をしてください。

（温度設定の目安） 30℃以上……………走行直後  
10～30℃……………25℃  
10℃以下……………5℃以下

##### (2) 走行直後に点検する場合

走行直後に点検する場合は“走行直後”に設定してください。

ただし、冬場など周囲温度が低い場合は下記のように設定してください。

バッテリーの温度が上がっている場合→25℃

バッテリーの温度が上がっていない場合→5℃以下

### 【スタータテスト】

エンジン始動時の負荷電圧及び負荷電流<sup>\*1</sup>を測定できます。測定待機状態にてエンジンを始動すると、自動的に負荷電圧及び負荷電流を測定し結果を表示します。24V車も測定可能です。

※1 注意：負荷電流を測定するにはクランプ計（オプション）が必要です。

負荷電流はピーク値から約0.1s後の値を表示します。

### 【充電テスト】

エンジンが動作している時のバッテリー電圧及び充電（放電）電流<sup>\*2</sup>を測定できます。測定値はリアルタイムに更新されます。待機状態にてエンジンを始動すると、24V車も測定可能です。

※2 注意：充電（放電）電流を測定するにはクランプ計（オプション）が必要です。

## 判定結果の見方

バッテリーテストの判定結果は3つに分類されます。

良 好 …… バッテリーの状態は問題ありません。今後も定期点検を実施してください。

＜“充電してください”が表示されている場合＞

バッテリーの状態としては問題ありませんが、充電不足です。

バッテリーの充電を行ってください。

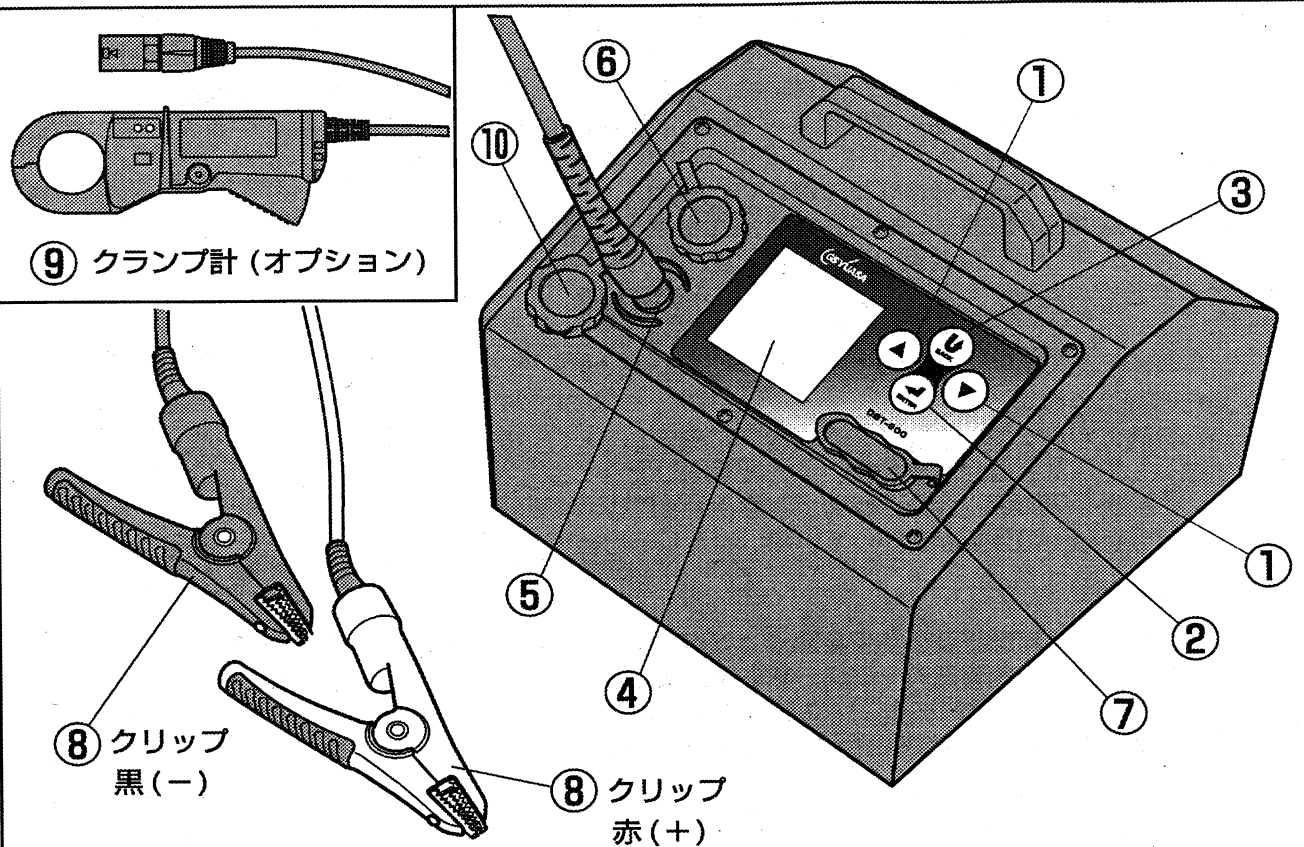
注 意 …… バッテリーが弱った状態です。いつ“要交換”の状態になるか分からない状況です。

使用するには注意が必要です。

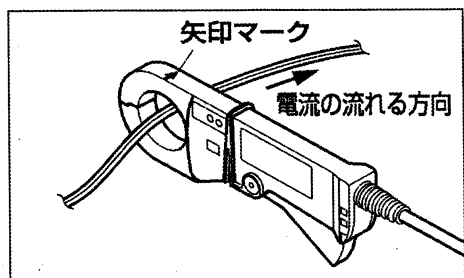
要交換 …… バッテリーがかなり弱った状態です。早めのバッテリー交換をお勧めします。

|                                                                                     |          |   |                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|---|------------------|
| 判定結果:                                                                               | 良好       | } | 測定した判定結果を表示      |
|                                                                                     | 充電してください |   |                  |
| 電池電圧:                                                                               | 12.30V   | } | 測定時のバッテリーの電圧値を表示 |
| 設定温度:                                                                               | 走行直後     |   |                  |
| 電池形式:                                                                               | 55D23    | } | 設定値を表示           |
| 要交換   注意                                                                            | 良好       |   |                  |
|  |          | } | 測定時のバッテリーの状態を表示  |
|                                                                                     |          |   |                  |

## 各部の名称とはたらき



| 名 称                | は た ら き                             |
|--------------------|-------------------------------------|
| ① 選択キー             | ■ コマンドや測定条件を選択するときに使用します。           |
| ② ENTERキー          | ■ コマンドや測定条件を決定するときに使用します。           |
| ③ BACKキー           | ■ 1つ前の画面に戻るとき、及びメイン画面へ戻るときに使用します。   |
| ④ 液晶ディスプレイ         | ■ 設定条件や測定結果を表示します。                  |
| ⑤ 接続端子 (テストコード用)*3 | ■ テストコードのコネクターを差し込む所です。             |
| ⑥ 接続端子 (クランプ計用)*3  | ■ クランプ計のコネクターを差し込む所です。              |
| ⑦ SDカードスロット        | ■ ソフトのアップデートをするときに使用します。(通常は使用しません) |
| ⑧ テストコード           | ■ 各種のテストをするときに使用します。                |
| ⑨ クランプ計 (オプション)    | ■ 負荷電流及び充放電電流を測定するときに使用します。         |
| ⑩ ゴムカバー            | ■ 接続端子部分にほこり等が入らないように使用します。         |

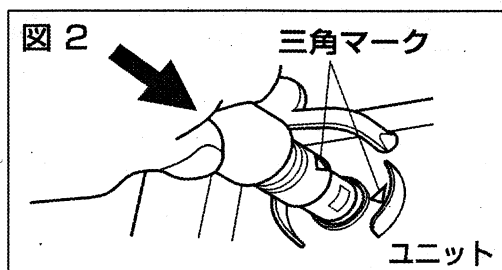
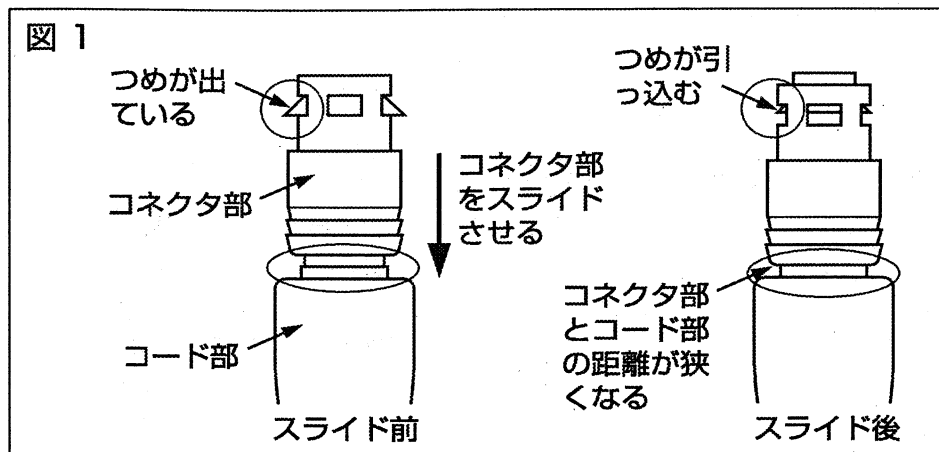


※注意：クランプ計は測定する向きがあります。  
クランプ計の矢印と電流の流れる方向を合わせてケーブルに挟んでください。逆向きにはめて測定すると“-”表示されます。

### ※3 テストコード及びクランプ計のコネクタの差し込み方及び外し方

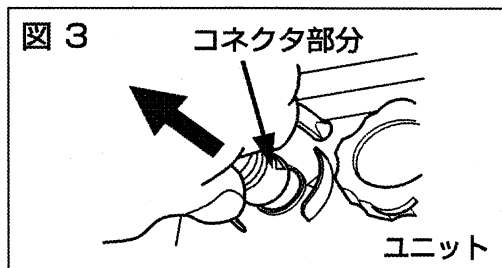
#### 【テストコード】

テストコードは、コネクタ部のつめをユニットの接続端子に引っ掛けロックする構造になっております（図1左側）。また、コネクタ部はコード側にスライドする構造になっており、コネクタ部をコード側にスライドさせると、つめが引っ込みロックが解除されます（図1右側）。



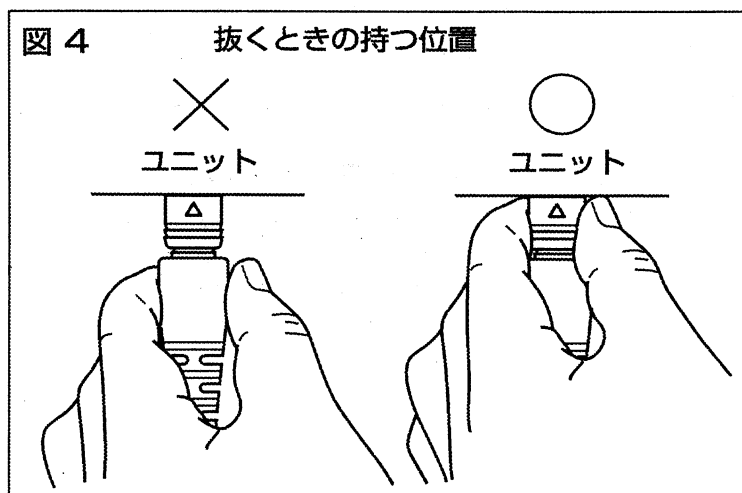
#### ●差し込み方（図2）

コネクタの三角マークとユニットの三角マークが一致するように合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。



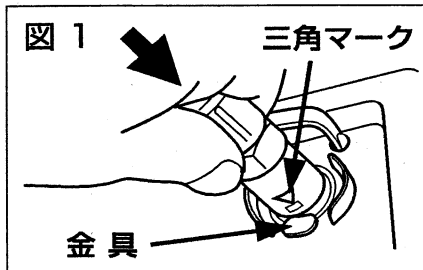
#### ●抜き方（図3）

テストコードのコネクタ部を持ち、スライドさせて引っ張り、コードを抜きます。（コネクタ部をスライドさせるとロックが解除されるので、外すことが可能となります。）またテストコードを外した後はほこり等が入らないよう接続端子部分にゴムカバーをしてください。



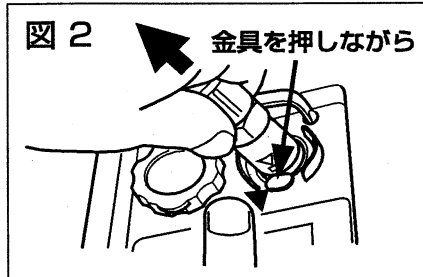
※注意：図4の左側のように、コード部を持って引っ張ってもテストコードは外れません。また、テストコードやユニットの接続端子の損傷原因になります。

## 【クランプ計】



### ● 差し込み方（図1）

コネクタの三角マークと接続端子に付いている金具が一致するように合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。



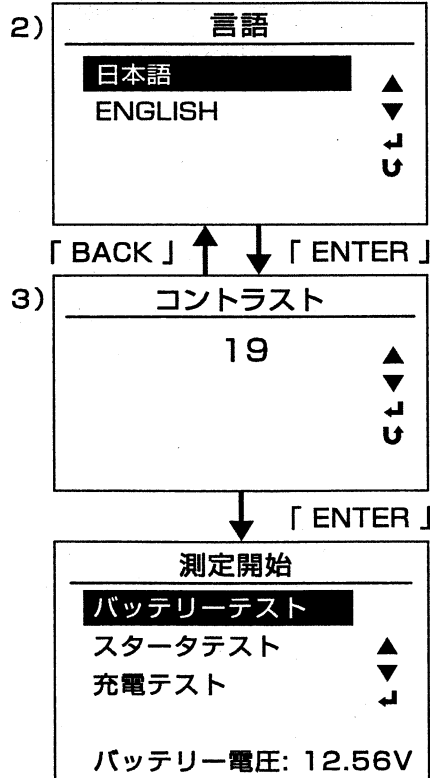
### ● 抜き方（図2）

接続端子の金具を押しながら、クランプ計のコネクタ部分を持ち真直ぐ引き抜いてください。

※注意：金具を押さず引っ張ったりコネクタ以外の部分を持ってクランプ計を引っ張ると、クランプ計や接続端子の損傷の原因になります。

またクランプ計を外した後はほこり等が入らないよう接続端子部分にゴムカバーをしてください。

## 操作方法（言語設定）



### 1) バッテリーの接続

- ① 接続する前に、エンジンが停止し、キースイッチがOFFであることを確認してください。
- ② 赤クリップをバッテリーの+端子に接続してください。
- ③ 選択キー2つとBACKキーを押しながら黒クリップをバッテリーの-端子に接続してください。  
(クリップが容易に動かないようしっかりと接続してください。)

### 2) 言語設定

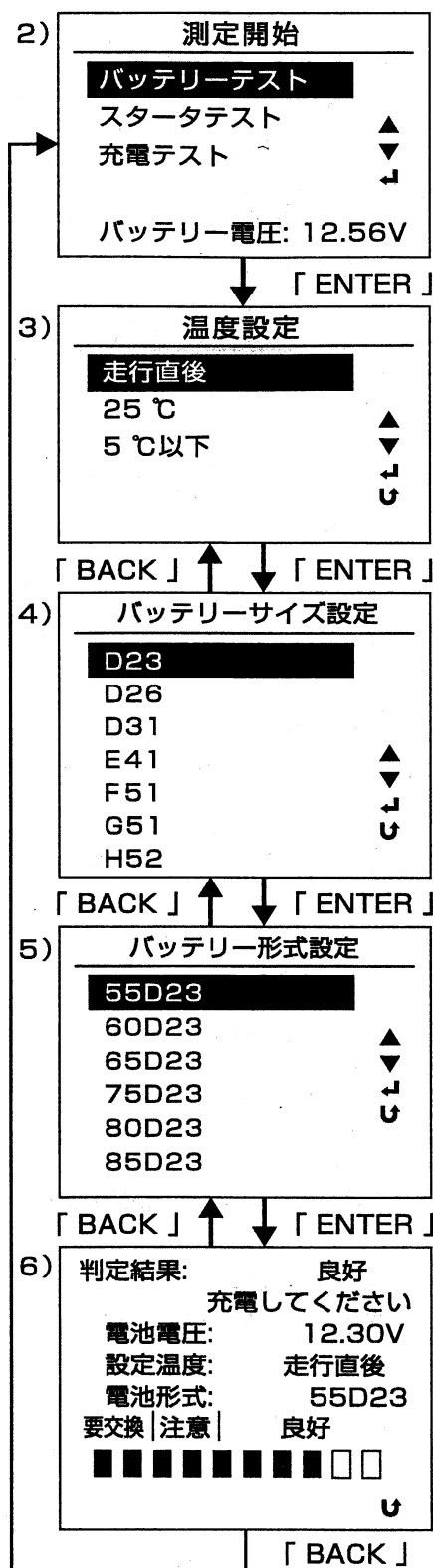
選択キーにて日本語か英語を選択し、決定したらENTERキーを押してください。

### 3) コントラスト設定

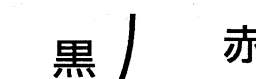
選択キーにて、液晶画面を暗くしたい場合は数値を大きく、明るくしたい場合は数値を小さくしてください。

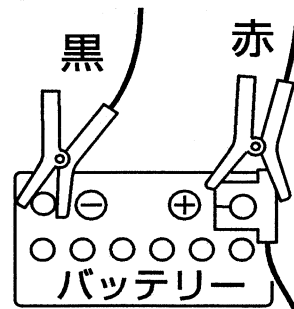
決定後ENTERを押すと、テスト選択画面へ移行します。

## 操作方法（バッテリーテスト）



## 1) バッテリーの接続

- ① 接続する前に、エンジンが停止し、キースイッチがOFFであることを確認してください。
- ② 赤クリップをバッテリーの＋端子に接続する。
- ③ 黒クリップをバッテリーの－端子に接続する。  
(クリップが容易に動かないようしっかりと接続してください。)
- 



## 2) テストモードの選択

テスト選択画面にて、選択キーを使用し“バッテリーテスト”を選択してください。

### 3) 温度設定

選択キーにて温度設定を行います。温度設定はバッテリーの電解液の温度によって行ってください。

(温度設定の目安)

|        |      |
|--------|------|
| 30℃以上  | 走行直後 |
| 10～30℃ | 25℃  |
| 10℃以下  | 5℃以下 |

(参考) 冬にて走行直後の場合

バッテリーの温度が上昇していない→5℃以下

バッテリーの温度が上昇→25℃もしくはは走行直後

#### 4) バッテリーサイズ設定

選択キーにて測定するバッテリーのサイズを設定してください。

## 5) バッテリー形式設定

選択キーにて測定するバッテリーの形式を設定してください。

## 6) 判定結果表示

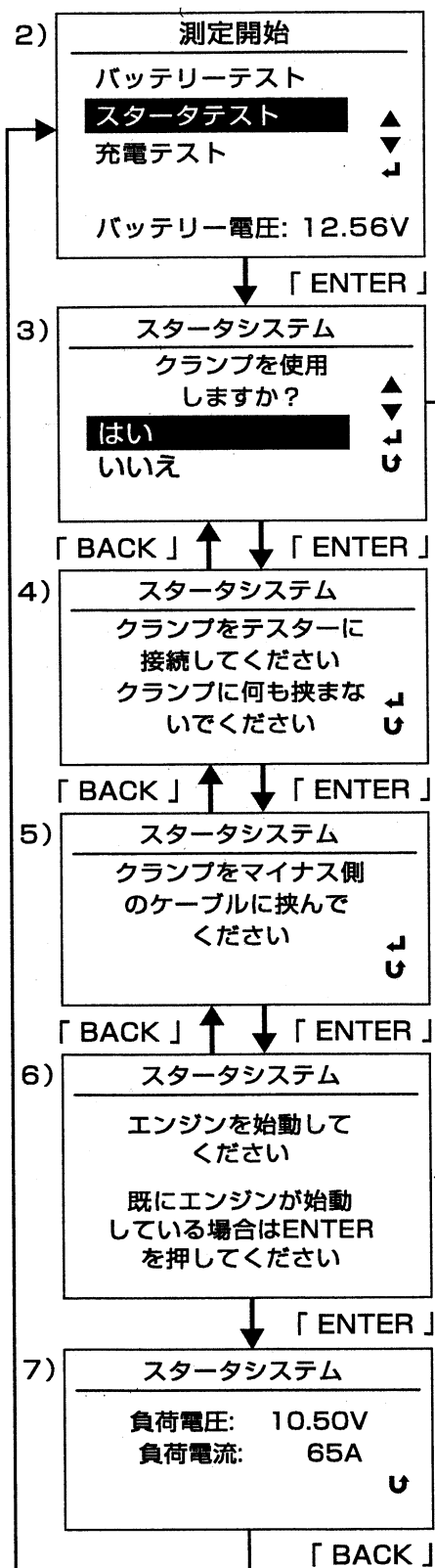
ENTERキーを押すと自動的に測定を開始します。  
約5秒にて測定し、その判定結果を表示します。

## 7) 終了

測定を終了するには、クリップをバッテリー端子より外してください。

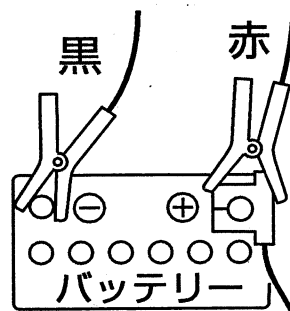
- ① 黒クリップをバッテリーの－端子から外す。
- ② 赤クリップをバッテリーの＋端子から外す。

## 操作方法（スタータテスト）



### 1) バッテリーの接続

- ① 接続する前に、エンジンが停止し、キースイッチがOFFであることを確認してください。
- ② 赤クリップをバッテリーの+端子に接続する。
- ③ 黒クリップをバッテリーの-端子に接続する。  
 (クリップが容易に動かないようしっかりと接続してください。)



### 2) テストモードの選択

テスト選択画面にて、選択キーを使用し“スタータテスト”を選択してください。

### 3) クランプ計の使用有無の選択

選択キーにてクランプ計の使用の有無を選択してください。  
 “いいえ”を選択した場合は測定開始画面へ移行します。

### 4) クランプ計の校正

クランプ計をテスター本体に接続し、クランプ計に何も挟まず、そのままENTERキーを押してください。

### 5) クランプ計の設置

クランプ計を一側のケーブルに挟んでください。  
 (クランプ計の挟み方はP6を参照してください。)

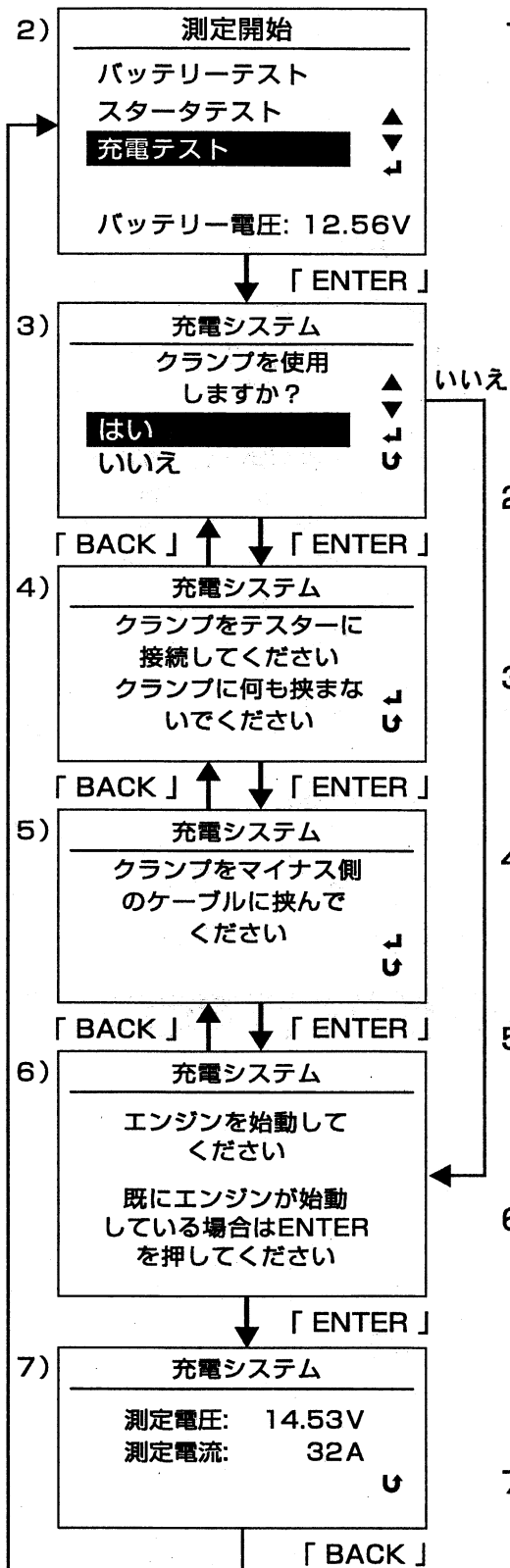
### 6) 測定開始画面

エンジンを始動してください。自動的にエンジン始動を検知して、測定結果を表示します。  
 (エンジン始動を検知しなかった場合、15秒経過後に“既に…”を表示します。既にエンジンを始動しているが測定開始画面から移行しない場合はENTERキーを押してください。エラーメッセージが表示されます。)

### 7) 測定結果表示

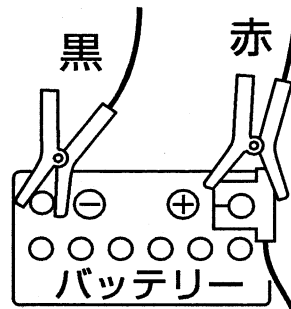
測定した結果を表示します。  
 (クランプ計を使用していない場合は負荷電流が表示されません。)

## 操作方法（充電テスト）



### 1) バッテリーの接続

- ① 接続する前に、エンジンが停止し、キースイッチがOFFであることを確認してください。
- ② 赤クリップをバッテリーの+端子に接続する。
- ③ 黒クリップをバッテリーの-端子に接続する。  
(クリップが容易に動かないようしっかりと接続してください。)



### 2) テストモードの選択

テスト選択画面にて、選択キーを使用し“充電テスト”を選択してください。

### 3) クランプ計の使用有無の選択

選択キーにてクランプ計の使用の有無を選択してください。  
“いいえ”を選択した場合は測定開始画面へ移行します。

### 4) クランプ計の校正

クランプ計をテスター本体に接続し、クランプ計に何も挟まず、そのままENTERキーを押してください。

### 5) クランプ計の設置

クランプ計を一側のケーブルに挟んでください。  
(クランプ計の挟み方はP6を参照してください。)

### 6) 測定開始画面

エンジンを始動してください。自動的にエンジン始動を検知して、測定結果を表示します。  
(既にエンジンを始動しているが測定開始画面から移行しない場合はENTERキーを押してください。)

### 7) 測定結果表示

測定した結果を表示します。  
(クランプ計を使用していない場合は負荷電流が表示されません。)

## エラーメッセージ

|          | 表 示                                       | 内 容                                      | 次のことを実施してください。                                                    |
|----------|-------------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| バッテリーテスト | 12Vシステム以外を検出。                             | バッテリー電圧が高すぎる。(15V以上)                     | バッテリーを2個以上直列につないで測定していないか確認してください。                                |
|          | バッテリー電圧が不安定です。負荷がないかチェックしてください。           | 測定電圧が不安定で測定できない。                         | 他の機器が動作していないか確認してください。                                            |
|          | 正常に測定できません。接続状態及びテスターを点検してください。           | テストコードもしくはテスターの破損または接続不良にてテスターが正常に動作しない。 | テストコードの接続状態を確認してください。またテストコードやテスターを点検してください。                      |
| スタータテスト  | エンジンが始動していて測定が出来ません。エンジンを切ってからテストをしてください。 | エンジンが始動していると検知。                          | 一度エンジンを切って、再度接続テストを行ってください。                                       |
|          | クランプの校正に問題があります。クランプ及びテスターを点検してください。      | クランプ計もしくはテスターの破損または接続不良にて正常に校正できない。      | クランプ計に何も挟んでいないか、しっかりテスターにはめ込まれているか確認してください。またクランプ計やテスターを点検してください。 |
|          | エンジン始動を検知できませんでした。エンジンを切って再テストしてください。     | エンジン始動を検知できなかった。                         | 接続をやり直した後、再度テストを実施してください。                                         |
| 充電テスト    | クランプの校正に問題があります。クランプ及びテスターを点検してください。      | クランプ計もしくはテスターの破損または接続不良にて正常に校正できない。      | クランプ計に何も挟んでいないか、しっかりテスターにはめ込まれているか確認してください。またクランプ計やテスターを点検してください。 |
| その他      | 接続を確認してください。                              | ケーブルの接続不良。                               | クリップをバッテリーから外し、1度ケーブルを抜き、再度差し込んで確認してください。                         |

## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。

| こんなときは             | 原 因                            | 次のことを点検してください。                |
|--------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| クリップを接続しても電源が入らない。 | バッテリー端子に正しく接続されていない。(逆接続状態である) | クリップを正しく接続してください。             |
|                    | バッテリー電圧が低すぎる(7V以下)。            | バッテリーの交換をお勧めします。              |
|                    | 入力電圧が35V以上である。                 | 本機は12V自動車用電池専用です。適合を確認してください。 |
|                    | テストケーブルが断線している。                | テストコードを交換してください。              |
|                    | 本体が破損している。                     | 本体を修理にお出してください。               |
| 設定中に画面が消える。        | クリップがバッテリー端子から外れる。             | クリップを正しく接続し、再度テストを行ってください。    |
|                    | バッテリー電圧が7V以下になる。               | バッテリーの交換をお勧めします。              |

上記以外の症状が出た、または処置をしても症状が改善されない場合は、ご購入された店にお申し出てください。

# バッテリーテスター 保証書

|     |         |      |  |
|-----|---------|------|--|
| 型 名 | DBT-900 | 製造番号 |  |
|-----|---------|------|--|

本書は記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。  
お買い上げ年月日・販売店名の記入もれがあると無効です。記入のない場合は、お買い上げ販売店にお申し出ください。

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 〈 無料修理規定 〉

- 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 保証書のご提示がない場合。
  - (ロ) 保証書にお買い上げ年月日・販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (ハ) 取扱説明書の記載の使用方法又は注意に反するお取扱いに起因する故障・損傷。
  - (ニ) 弊社指定会社以外で行われた修理・改造が原因にて生じた故障・損傷
  - (ホ) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
  - (ヘ) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
  - (ト) 消耗品及びこれに準ずる部品（テストコード、ゴムカバー 等）。
  - (チ) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。

※ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

取扱販売店名・住所・電話番号

保  
証  
期  
間

お買い上げ日

年 月 日 より

ご購入日より起算して1年間、消耗品及びこれに準ずるものは除く

## お客様お問い合わせダイヤル

株式会社 ジーエス・ユアサ パワーサプライ 特機事業部 03(3502)7121

お客様相談室  0120-431-211

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝日、年末、年始を除く）

※ お問い合わせの際には、型名（DBT-900）をお知らせください。